

ニホンジカの生息頭数を減らすため、

メスジカの捕獲をお願いします！

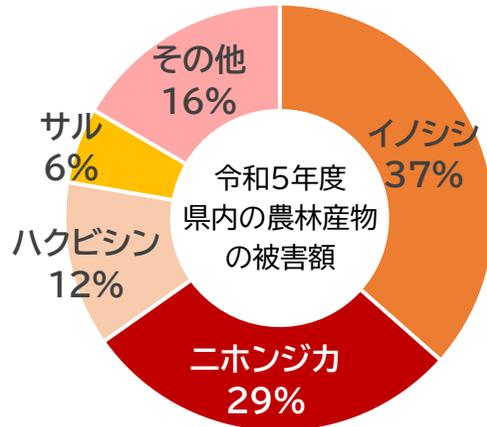


県内には、ニホンジカが約51,600頭生息しています※1。
県が目標とする生息頭数の約5～6倍のニホンジカが生息しており、自然生態系や農林業に被害を及ぼしています。

増えすぎたニホンジカを減らすためには、なるべくメスを捕獲して、増加を抑制する必要があります。
メスジカの捕獲に、協力をお願いします！

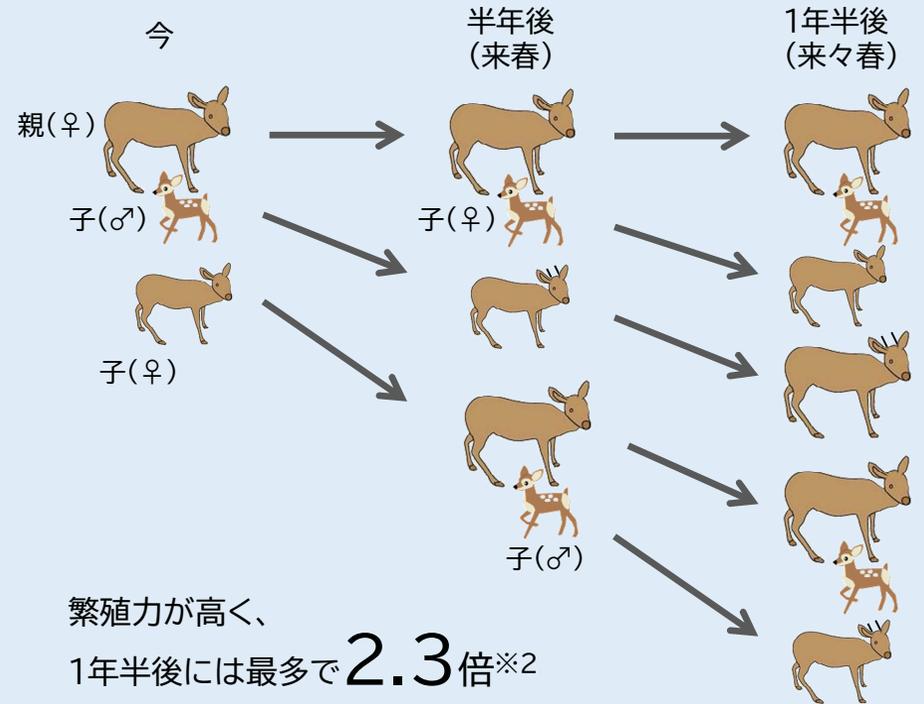


下草や落ち葉が食べられ、表面の土砂が流出した森林(伊豆地域)



■ ニホンジカが増えやすい理由 ■

- ・一夫多妻制で、メスは2才からほぼ毎年出産(高齢でも出産)
- ・環境適応力が高い(草原でも森林でも生息可能。樹皮や落ち葉も食べられる等)



※1 令和5年度時点推定 ※2 オスメスの性比が1:1と想定した場合

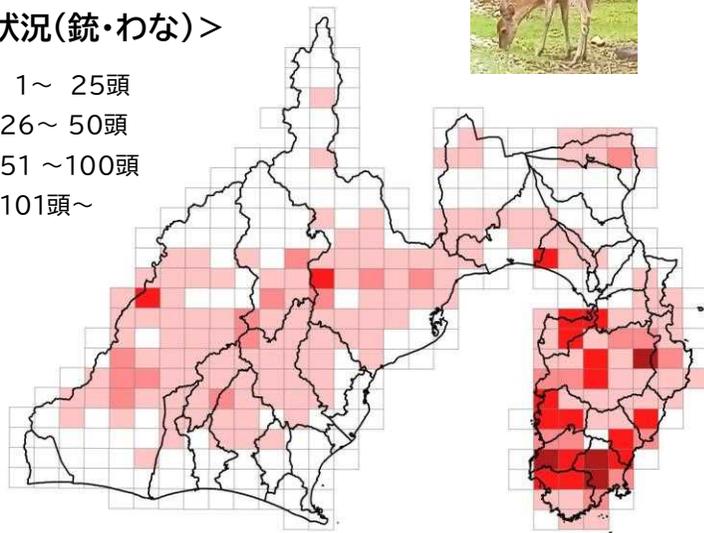


狩猟カレンダー及び捕獲調査票の情報は、野生鳥獣管理のための基礎資料として活用しています。
引き続き、狩猟カレンダー、捕獲調査票の正確な記載に御協力いただきますようお願いいたします。

■ ニホンジカ ■



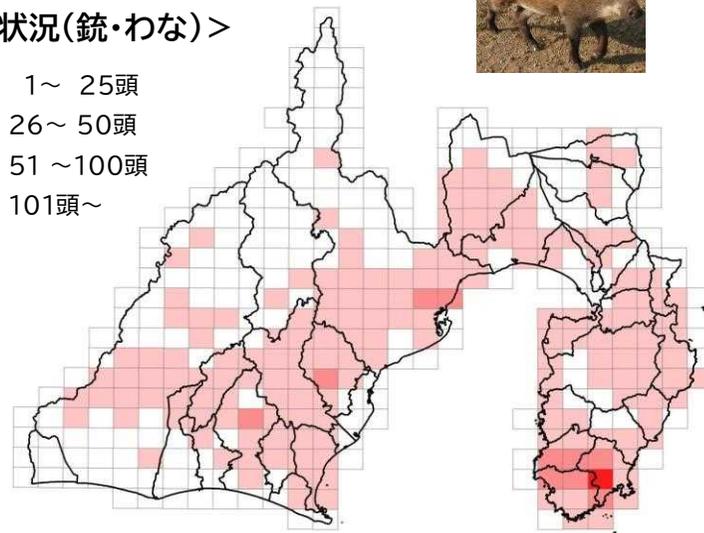
<R5捕獲状況(銃・わな)>



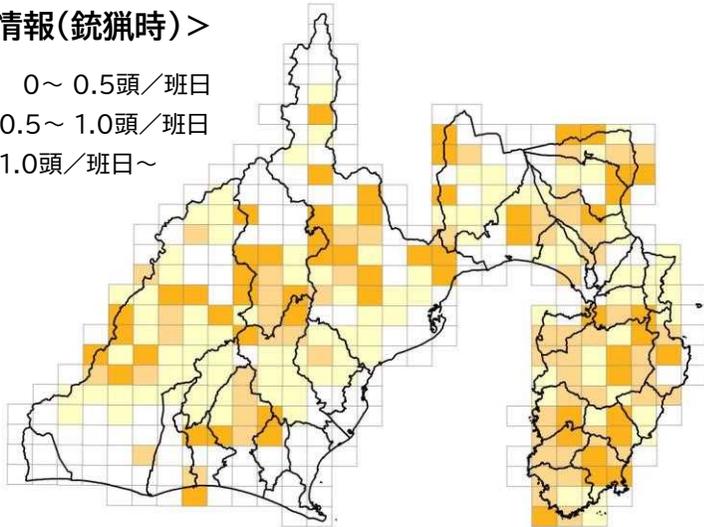
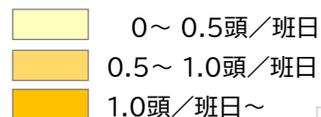
■ イノシシ ■



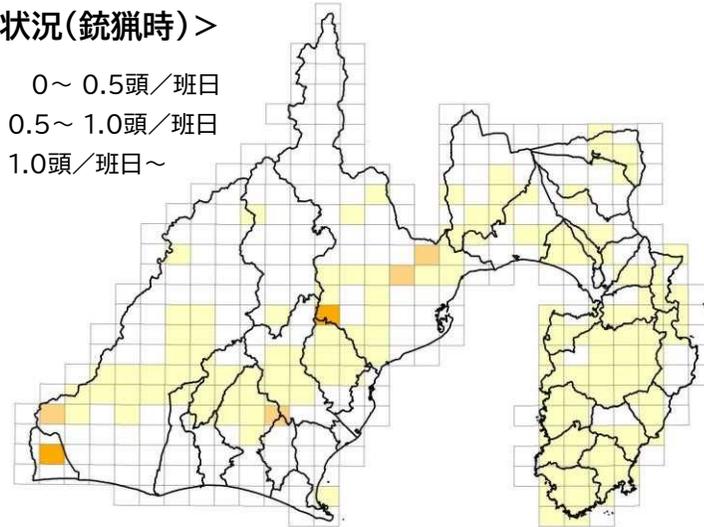
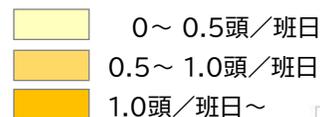
<R5捕獲状況(銃・わな)>



<R5目撃情報(銃猟時)>



<R5目撃状況(銃猟時)>



※ 本図は、皆様にご記入いただいた「ニホンジカ・イノシシ狩猟カレンダー」(令和5年度)をもとに作成しています。